

# Cisco Elastic Services Controller 5.8 リリース ノート

## はじめに

Cisco Elastic Services Controller (ESC) は、仮想ネットワーク機能 (VNF) のライフサイクルを管理する仮想ネットワーク機能マネージャ (VNFM) です。

Cisco Elastic Services Controller (ESC) は、ネットワーク機能の仮想化 (NFV) 環境におけるアジリティ、柔軟性、およびプログラマビリティを促進し、包括的で自動化されたライフサイクル管理機能を提供します。設計上、Cisco ESC はオープンなモジュラーシステムとして構築されています。動的な環境で汎用仮想ネットワーク機能 (VNF) における VNF ライフサイクルのすべての側面を管理する、単一の制御ポイントを提供します。業界標準とオープン API を利用して、すべての仮想化リソースのライフサイクル全体を制御することができ、シスコまたはサードパーティの VNF のどちらを使用するかを問わず、業界最高のソリューションを選択できます。

- ESC は、Cisco Orchestration Suite の一部として、Cisco Network Services Orchestrator (NSO) および Cisco NFV Orchestrator (NFVO) バンドルにパッケージ化されています。Cisco Managed Services Accelerator (MSX) などのシスコソリューション内で利用できます。
- ESC は、専用仮想ネットワーク機能マネージャ (SVNFM) として、Cisco Mobility VNF と緊密に統合されます。
- また、ESC は汎用仮想ネットワーク機能マネージャ (GVNFM) としても使用でき、シスコとサードパーティ両方の VNF のライフサイクル管理を提供します。

### サポートされる仮想インフラストラクチャ マネージャ (VIM)

ESC は、OpenStack、VMware vCenter、vCloud Director、Amazon Web Services (AWS) などの VNF のライフサイクル管理をサポートします。詳細については、[Cisco Elastic Services Controller インストールおよびアップグレードガイド \[英語\]](#) を参照してください。

## 5.8 の新機能と拡張機能

このセクションでは、Cisco Elastic Services Controller リリース 5.8 で追加された機能について説明します。

- Openstack および ESC データ調整をサポートするためのブラウフィールド強化：ブラウフィールド展開は、ターゲット ESC VM が VIM 上のライブ VNF を管理できるようにする ESC VNF 展開です。

詳細については、『[Cisco Elastic Services Controller User Guide](#)』を参照してください。

- ESC トランクおよび VLAN 機能：OpenStack ネットワーク トランク サービスにより、複数のネットワークが単一の仮想 NIC（vNIC）を使用して VM インスタンスに接続できます。VM 側の観点からは、単一ポートのインターフェイスに接続することにより、インスタンスに対して複数のネットワークが提示されます。  
詳細については、『[Cisco Elastic Services Controller User Guide](#)』を参照してください。
- VNF スナップショットの管理：スナップショットは、実行中のインスタンスから OpenStack に新しいイメージを作成できるメカニズムです。  
詳細については、<https://www.cisco.com/c/en/us/support/cloud-systems-management/elastic-services-controller-esc/products-user-guide-list.html>を参照してください。
- VNF パッケージの管理：ESC は VNF パッケージを管理します。  
詳細については、<https://www.cisco.com/c/en/us/support/cloud-systems-management/elastic-services-controller-esc/products-user-guide-list.html>を参照してください。
- VMWare vCenter での VNF の IPv6 サポート：ESC 5.8 リリース以降、ESC は VIM タイプの VMware vSphere の IPv6 展開をサポートしますが、デュアル スタック ネットワークの作成はサポートされないという制限があります。  
詳細については、『[Cisco Elastic Services Controller User Guide](#)』を参照してください。
- ESC ドキュメントのアップデート
  - Cisco Elastic Services Controller [トラブルシューティング ガイド](#)：ESC のインストール、ESC HA、ESC マイクロサービス、ESC のアップグレード、ESC のバックアップと復元に関するトラブルシューティング、ESC ConfD と NETCONF API、および ESC VNF 展開に関連する、さまざまなトラブルシューティング アクティビティについて説明しています。詳細については、『[Cisco Elastic Services Controller Troubleshooting Guide](#)』を参照してください。

## 廃止された機能

ESC リリース 5.4 以降、一部の機能が廃止されました。次の表は、ESC で廃止された機能と、それらに取って代わる新しい機能を示しています。

表 1: 廃止された機能

廃止された機能	新しい機能	新規作成 in リリース	廃止 [通知 (N)]	廃止 となった (廃止 予定の) リリース
SOL001 v2.7.1に関連するデータモデル	SOL001 v3.3.1に関連するデータモデル	5.7	5.7	
SOL002 v2.5.1 に関連するデータモデル、要求/応答構造、およびフロー	SOL002 v3.3.1 に関連するデータモデル、要求/応答構造、およびフロー	5.7	5.7	
SOL003 v2.5.1 に関連するデータモデル、要求/応答構造、およびフロー	SOL003 v3.3.1 に関連するデータモデル、要求/応答構造、およびフロー	5.7	5.7	
次のシスコ固有の拡張機能： tosca.datatypes.nfv. VnfHealOperationConfiguration 。	標準化された拡張ポイントに移行： cisco.datatypes.nfv. VnfcAdditionalConfigurableProperties	5.4	5.4	6.0
次のシスコ固有の拡張機能： tosca.nodes.nfv.Vdu.VirtualBlockStorage (resource_id に外部ボリュームの UUIDを指定します)。	標準化されたデータ構造に移行： tosca.nodes.nfv.Vdu.VirtualBlockStorage. virtual_block_storage_data.vdu_storage_requirements	5.4	5.4	6.0
次のシスコ固有の拡張機能の一部： tosca.nodes.nfv.VduCp 。	allowed_address_pairs を除くすべて が 次の標準化されたデータ構造に移 行： tosca.nodes.nfv.VduCp. virtual_network_interface_requirements および tosca.nodes.nfv.VnfVirtualLink. virtual_link_protocol_data	5.4	5.4	6.0

廃止された機能	新しい機能	新規作成 in リリース	廃止 [通知 No]	廃止 となった (廃止 予定の) リリース
tosca.policies.nfv.SecurityGroupRule のシスコ固有の拡張機能  (アウトオブバンドのセキュリティ グループを指定します)。	標準化されたデータ構造に移行：  tosca.nodes.nfv.VduCp. metadata.security_group	5.4	5.4	6.0
SOL001 VNFD の固定アドレスおよ び静的 IP プールの定義のためのプ レースホルダーとして機能する、次 のシスコ固有の拡張機能：  nodes.nfv.Vdu.Compute (vdu_profile.static_ip_address_pools)	用途  InstantiateVnfRequest  は、標準に従って、cpProtocolData データ構造を使用した、IP アドレス 指定の要件に使用します。	5.3	5.4	6.0

Cisco ESC リリース 5.3 以降、次のサポートは将来のリリースで追加の通知なしに終了する可能性があります。

- 廃止済みの VMware vCenter バージョン 5.5 および 6.0。
- 廃止済みの VMware vCloud Director (vCD) バージョン 8.2。
- 廃止済みの D-MONA 1:1 マッピング

詳細については、次のサイトで入手可能なリリースドキュメントを参照してください：  
<http://www.cisco.com/c/en/us/support/cloud-systems-management/elastic-services-controller-esc/tsd-products-support-series-home.html>。

## Cisco Elastic Service Controller のバグ

このリリースで未解決および解決済みのバグの一覧については、Cisco [バグ検索](#) ツールを使用してください。

### 未解決のバグ

次の表は、Cisco Elastic Services Controller 5.8 リリースで未解決の問題を示しています。

表 2: Cisco Elastic Services Controller 5.8 の未解決のバグ

不具合 ID	説明
<a href="#">CSCvz18002</a>	ChangeExtVnfConnectivity API Req を使用して OOB ポートを変更すると、古いポートが切り離されない
<a href="#">CSCwc23947</a>	Esc バックアップおよび復元中の無関係な警告メッセージ

### 解決済みのバグ

次の表は、Cisco Elastic Services Controller 5.8 リリースで解決済みの問題を示しています。

表 3: Cisco Elastic Services Controller 5.8 の解決済みのバグ

不具合 ID	説明
<a href="#">CSCwc39211</a>	ESC 5.7 へのアップグレード後、VNI Rewrite ケースを使用した既存の VNF での VM リカバリが失敗する
<a href="#">CSCwc10563</a>	escadm スクリプトの実行が、/opt/cisco/esc/esc_database ディレクトリからブロックされる

## Cisco バグ検索ツール

バグ検索ツール (BST) は Bug Toolkit の後継オンラインツールであり、ネットワークリスク管理およびデバイスのトラブルシューティングにおいてお客様の効率性を向上させるように設計されています。

BST を使用すると、パートナーとお客様は製品、リリース、キーワードに基づいてソフトウェアバグを検索し、バグ詳細、製品、バージョンなどの主要データを集約することができます。またこのサービスでは、クレデンシャルに基づいてバグをフィルタし、検索入力に関する外部および内部のバグ ビューを提供することもできます。

バグ検索ツールを使用してリリースの特定のバグまたはすべてのバグを検索するには、次の操作を実行します。

### 手順

**ステップ 1** <http://tools.cisco.com/bugsearch> にアクセスします。

**ステップ 2** [ログイン (Log In)] 画面で、登録済みの Cisco.com ユーザ名およびパスワードを入力し、[ログイン (Log In)] をクリックします。[バグ検索 (Bug Search)] ページが開きます。

(注) Cisco.com のユーザ名とパスワードを持っていない場合、  
<http://tools.cisco.com/RPF/register/register.do> で登録できます。

**ステップ 3** 特定のバグを検索するには、[検索対象 (Search For)] フィールドにバグ ID を入力し、Return キーを押します。

**ステップ 4** 現在のリリースでバグを検索するには、次のようにします。

1. [検索対象 (Search For) ]フィールドにキーワードを入力し、Return キーを押します。(その他のフィールドは空のままにします)。
2. 検索結果が表示されたら、フィルタ ツールを使用して検索したいタイプのバグを見つけます。変更日付、ステータス、重大度などでバグを検索できます。

ヒント 結果をスプレッドシートにエクスポートするには、[スプレッドシートにすべてをエクスポート (Export All to Spreadsheet) ]リンクをクリックします。

Cisco.com で**バグ検索**のツールとリソースを参照してください。ツールの概要および機能に関する詳細は、<http://www.cisco.com/web/applicat/cbsshhelp/help.html>にあるヘルプページを参照してください。

---

## Cisco ESC のアクセシビリティ機能

Cisco ESC 5.8 のアクセシビリティ機能のリストについては、シスコ Web サイトの [Voluntary Product Accessibility Template \(VPAT\)](#) を参照するか、[accessibility@cisco.com](mailto:accessibility@cisco.com) にお問い合わせください。

すべての製品マニュアルは、イメージ、グラフィック、および一部のチャートを除き、アクセシブルになっています。音声、点字、または大きな文字の製品マニュアルが必要な場合は、[accessibility@cisco.com](mailto:accessibility@cisco.com) にお問い合わせください。

## 関連資料

Cisco Elastic Services Controller については、次のドキュメントを利用できます。

- Cisco Elastic Services Controller ユーザーガイド
- Cisco Elastic Services Controller インストールおよびアップグレードガイド
- Cisco Elastic Services Controller ETSI NFV MANO ガイド
- *Cisco Elastic Services Controller 5.1 Administration Guide*
- Cisco Elastic Services Controller トラブルシューティング ガイド
- Cisco Elastic Services Controller NETCONF API ガイド
- *Cisco Elastic Services Controller REST API Guide*
- Cisco Elastic Services Controller ETSI API ガイド
- *Cisco Elastic Services Controller Deployment Attributes*

ドキュメントには次の URL でアクセスできます。

<http://www.cisco.com/c/en/us/support/cloud-systems-management/elastic-services-controller-esc/tsd-products-support-series-home.html>。



## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。